

調査資料

「那須雪崩事故調査票 2」
【本県の春山安全登山講習会関係】

第 1 班 (大田原高校)	菅又久雄	……	p	1
第 2 班 (真岡高校)	渡辺浩典	……	p	3
第 3 班 (矢板東高校・那須清峰高校)	澤村哲史	……	p	5
	本嶋佑己	……	p	7
	手塚勝紀	……	p	9
第 4 班 (矢板中央高校・宇都宮高校)	高秀大作	……	p	11
	██████████	……	p	15
第 5 班 (真岡女子高校・矢板東高校)	小林朋生	……	p	17
待 機	(大田原高校) 猪瀬修一	……	p	21
	(宇都宮高校) 池間明德	……	p	23
1, 2 日目参加者	(大田原高校) 若林徹大	……	p	25
	(矢板東高校) 関谷恭弘	……	p	27
	(宇都宮東高校) 島田幹男	……	p	29
	(さくら清修高校) 後藤 尚	……	p	31
	(さくら清修高校) 吉澤順一	……	p	33
1 日目参加者	(宇都宮女子高校) 早川大介	……	p	35
2 日目参加者	(大田原女子高校) 荒井 徹	……	p	37

那須雪崩事故調査票 2

勤務校（ 真岡高等学校 ） 職・氏名（ 教諭 菅又 久雄 ）

【本県の春山安全登山講習会関係】

- 1 あなたは、これまで春山安全登山講習会に何回参加していますか。
10回
- 2 今回の講習会におけるあなたの役割について、以下の点を踏まえて記入してください。
 - ①参加は、顧問（引率）として、講師として、講習受講者として、のいずれですか。
顧問、(引率) および講師としての参加
 - ②顧問と講師の違いをどのように捉えていましたか（それぞれの捉え方で結構です）。
顧問は生徒の引率責任と自己の知識・技術の習得
講師は積雪期での安全登山に必要な知識・技術の習得をさせる
 - ③講習受講者以外の方は、顧問または講師以外で何か役割を担っていましたか。
全員が顧問または講師であった
- 3 予め決まっていた緊急時の連絡体制を記入してください。
 - ①各顧問から、誰にどのような手段で連絡することになっていましたか。
本部猪瀬委員長に無線（携帯電話）で連絡
 - ①高体連に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
本部猪瀬委員長から電話連絡
 - ②学校に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
各校顧問が学校長に電話連絡
 - ④保護者に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
各校顧問が電話連絡
 - ⑤警察や消防に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
本部猪瀬委員長から電話連絡
- 4 講習会の内容について保護者に対して事前にどのように伝えていましたか。また、保護者の理解（了解・同意等）をどのように得ていましたか。
正顧問の渡辺教諭が伝え、保護者の同意を得ていた。
- 5 学校では、今回の講習会への参加について、どのような手続を経て決定しましたか。
正顧問の渡辺教諭が手続きをした。
- 6 講習会において参加者が受講した講義、実技講習の内容の詳細について記入してください。
(★1・・・別紙の地図にAと記入)
 - ①（1日目午前）講話と学科の内容
講話『山岳部はこんなに得する』 ████████ 氏（地平線会議コーディネーター）
講義『国立登山研修所 安全登山普及指導者中央研修会に参加して』 早川大介先生
 - ②（1日目夕方）講師打合せの内容
参加者等確認

講習場所、内容についての打合せ

講習会期間中の天候についての確認（天気予報から講習会期間中の 26 日(日)午後から 27 日(月)朝にかけて天気が崩れることを確認しあった。）

- ③（2 日目）班別実技講習の内容と講習を実施した場所を地図に示してください。★₁

峠の茶屋奥の尾根上の斜面で実施

- ・積雪期の登下降（キックステップ、直登下降・トラバース・斜め歩行技術）
- ・ピッケルの各部名称、持ち方、使い方
- ・滑落停止技術 ・固定ザイル、簡易チェストハーネス、スリングの使用法
- ・雪洞の作り方 ・弱層テスト

- ④（2 日目夕方）講師打合せの内容

各班ばらばらでの解散になったため、この日の実技講習終了時に委員長猪瀬、実技講習 CL 菅又、前委員長渡辺の 3 人（登山経験が長い者）で、次の日の行動について 27 日朝 6:00 の様子を見て決めることにした。

- 7 あなたが、今回の講習会の中で安全面の指導（雪崩発生時の対処法、危険箇所の把握）を行った場合は、その指導した場面や具体的な内容を記入してください。

トラバース時の歩行…滑りやすいため一步一步を注意する

滑落停止…なるべく早く止める

弱層テスト…弱い雪の層を見つけ雪崩防止に役立てる

雪洞の作り方…荒天時に寒さをしのげる

休憩時の場所…斜面では滑りやすいため、平らな面をつくって座るように指導

雪山では谷は雪崩が起こりやすい…基本的に尾根を歩く

尾根では雪庇が発達すると危ない…雪庇の上を歩かない

- 8 那須岳周辺で雪崩が発生する危険がある場所について把握していましたか。また、把握していた場合、それを地図で示してください。そして、その情報は共有されていましたか。★₂ (★₂・・・別紙の地図にBと記入)

今回、渡辺教諭から第 1 グレンデの一番奥の斜面は雪崩が起こる可能性があるため、入らないようにと言われたため、講師・参加生徒にそのことを伝えた。

那須雪崩事故調査票 2

勤務校 (真岡高校) 職・氏名 (教諭 渡辺浩典)
現任校：栃木高校

【本県の春山安全登山講習会関係】

- 1 あなたは、これまで春山安全登山講習会に何回参加していますか。
 - ・約 2.0 回 平成 5 年頃～平成 10 年、平成 13 年頃～平成 29 年

- 2 今回の講習会におけるあなたの役割について、以下の点を踏まえて記入してください。
 - ①参加は、顧問(引率)として、講師として、講習受講者として、のいずれですか。
 - ・引率顧問としてと、2日目の班別実技講習の講師として。
 - ②顧問と講師の違いをどのように捉えていましたか(それぞれの捉え方で結構です)。
 - ・引率顧問は生徒に同行する。講師は講習内容を生徒に教える。
 - ③講習受講者以外の方は、顧問または講師以外で何か役割を担っていましたか。
 - ・特になし

- 3 予め決まっていた緊急時の連絡体制を記入してください。
 - ①各顧問から、誰にどのような手段で連絡することになっていましたか。
 - ・主任講師および本部へ無線で連絡
 - ②高体連に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
 - ・委員長から専門部長を通じて電話で連絡
 - ③学校に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
 - ・各校顧問が電話で連絡
 - ④保護者に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
 - ・各校顧問が電話で連絡 または各校顧問が学校を通じて電話で連絡
 - ⑤警察や消防に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
 - ・本部(委員長)が電話で連絡

- 4 講習会の内容について保護者に対して事前にどのように伝えていましたか。また、保護者の理解(了解・同意等)をどのように得ていましたか。
 - ・3週間程前に、名称・期日・会場・現地連絡先・日程・コースなどを記載した、事前準備から事後の片付けまでをふくめた予定表を配布して周知した。
 - ・参加できない場合にはその旨の申し出があるので、申し出がない場合は同意を得たと理解している。

- 5 学校では、今回の講習会への参加について、どのような手続を経て決定しましたか。
 - ・正顧問である自分が、校内書式にもとづく活動許可願いによって、教務主任・教頭
 - ・校長の決済を得て決定した。

- 6 講習会において参加者が受講した講義、実技講習の内容の詳細について記入してください。(★1・・・別紙の地図にAと記入)
 - ①(1日目午前)講話と学科の内容

- ・講話 講師の方の登山経験や海外での活動について
 - ・学科 国立登山研修所での講習内容の伝達講習 装備や読図について
- ② (1日目夕方) 講師打合せの内容
- ・講習内容の確認 必ず実施するもの 道具の名称・使い方、キックステップ、
滑落停止など
時間があれば実施するもの フィックスロープ
実施しなくてもよいもの スタンディングアックスピレー
 - ・講習場所 峠の茶屋上部の斜面
 - ・講習時間 遅くなると天気が崩れてくるかもしれないので状況を見て早めに切り上げる
 - ・生徒に対する教え方、教える際のポイント
 - ・無線の携行
 - ・明日の天気の確認
- ③ (2日目) 班別実技講習の内容と講習を実施した場所を地図に示してください。★₁
- ・必要装備の確認 帽子、スパッツ、手袋、スコップ、ザイル、ツェルトなど
 - ・ピッケル各部の名称と使い方、もち方
 - ・キックステップ 登り・下り、トラバース、斜め登り・斜め下り、方向転換
 - ・ツェルトの使用法
 - ・弱層テスト
 - ・雪洞掘り
 - ・滑落停止
- ④ (2日目夕方) 講師打合せの内容
- ・3日目の行動については、当日の朝に決定すること
- 7 あなたが、今回の講習会の中で安全面の指導(雪崩発生時の対処法、危険箇所の把握)を行った場合は、その指導した場面や具体的な内容を記入してください。
- ・2日目実技講習のなかで、雪崩にあった場合は早期の救出が重要になるので、雪山で行動する場合はスコップを必ず携行することを指導
 - ・3日目行動開始前の説明の際に、スキー場の奥の方は雪崩の危険性があることを指摘し、それを受けて委員長(または主任講師)が詳しく説明。
 - ・3日目に雪崩に巻き込まれた後、無事だった生徒・教員に対して沢筋は再び雪崩に巻きこまれる可能性があるため、尾根筋に移動して待機するよう指示。
- 8 那須岳周辺で雪崩が発生する危険がある場所について把握していましたか。また、把握していた場合、それを地図で示してください。そして、その情報は共有されましたか。★₂
- (★₂・・・別紙の地図にBと記入)
- ・上記7に記載の通り把握し共有していた。

那須雪崩事故調査票 2

勤務校（ 矢板東高校 ） 職・氏名（教諭・澤村哲史）

【本県の春山安全登山講習会関係】

1 あなたは、これまで春山安全登山講習会に何回参加していますか。

・ 1回

2 今回の講習会におけるあなたの役割について、以下の点を踏まえて記入してください。

- ①参加は、顧問（引率）として、講師として、講習受講者として、のいずれですか。
- ②顧問と講師の違いをどのように捉えていましたか（それぞれの捉え方で結構です）。
- ③講習受講者以外の方は、顧問または講師以外で何か役割を担っていましたか。

①顧問として

②講師は班員の体調面や体力の消耗度等、状況をより理解する。講習内容を理解し、的確に生徒に伝える。

③特にはなかった

3 予め決まっていた緊急時の連絡体制を記入してください。

- ①各顧問から、誰にどのような手段で連絡することになっていましたか。
- ②高体連に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
- ③学校に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
- ④保護者に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
- ⑤警察や消防に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。

①副顧問は主顧問に連絡することになっていた。必要に応じて生徒または家庭に携帯電話や自宅の電話に連絡するようになっていた

②よくわからない

③基本的には各顧問が、電話で連絡することになっていた

④各顧問、またはその学校が電話で連絡するようになっていた

⑤よくわからない

4 講習会の内容について保護者に対して事前にどのように伝えていましたか。また、保護者の理解（了解・同意等）をどのように得ていましたか。

・毎年恒例の行事であることから時期が近づいてから（3月の初旬頃）、何度か生徒に伝えていた。その後、事前に欠席する旨のことを申し出る生徒がいたが、それ以外は参加する予定だったので、その時点で保護者は講習会について理解していたと考えている。

5 学校では、今回の講習会への参加について、どのような手続を経て決定しましたか。

・講習会の派遣文書がきて、それを教務主任・事務長・教頭・校長と確認の決裁がおこなわれ、顧問の下に文書が下りてきた。その後、出張伺いを提出し、出張の許可が下りたと考えている。

6 講習会において参加者が受講した講義、実技講習の内容の詳細について記入してください。 (★₁・・・別紙の地図にAと記入)

- ① (1日目午前) 講話と学科の内容
- ② (1日目夕方) 講師打合せの内容
- ③ (2日目) 班別実技講習の内容と講習を実施した場所を地図に示してください。 ★₁
- ④ (2日目夕方) 講師打合せの内容

①講師が山岳部に入り山登りの魅力にとりつかれ、在職中にさまざまな場所に行き、山に登った話。特にモンゴルに行った際の現地の人たちとの交流のこと。

②参加していない。

③峠の茶屋付近から、茶臼岳方面に班ごとにラッセルで比較的平らな部分まで登った。登ったところで、キックステップの練習、雪洞づくり、弱層テスト、ツェルトの利用の仕方、滑落訓練等を行った。

④二日目の日程終了前にセンターハウスにて、その時点で明日は予定通り実施とあった。

7 あなたが、今回の講習会の中で安全面の指導(雪崩発生時の対処法、危険箇所の把握)を行った場合は、その指導した場面や具体的な内容を記入してください。

- ・3日目スキー場から斜面を登る際に、先頭は交代で進むように指示をした。
- ・3日目茶臼岳の上の方に行き過ぎないように、急がずゆっくり進むように指示をした。
- ・生徒の体調面や怪我をしていないかなどを、休憩時などに確認した。
- ・雪崩発生後、なるべく高いところに移動し、あたたかい格好で待機するように指示をした。
- ・怪我をしている生徒を介抱し、その子が体温を保つために雪洞を作るように指示をした。

8 那須岳周辺で雪崩が発生する危険がある場所について把握していましたか。また、把握していた場合、それを地図で示してください。そして、その情報は共有されていましたか。★₂ (★₂・・・別紙の地図にBと記入)

- ・3日目ラッセル訓練を開始する前に、雪が多く茶臼岳の上の方(天狗の鼻の上部あたりか)に行くと危ないので上に行きすぎないようにしようと話があった。

那須雪崩事故調査票 2

勤務校（ 那須清峰高等学校 ） 職・氏名（ 教諭 本嶋 佑己 ）

【本県の春山安全登山講習会関係】

1 あなたは、これまで春山安全登山講習会に何回参加していますか。
前述の通り、平成27年度と平成28年度の2回です。

2 今回の講習会におけるあなたの役割について、以下の点を踏まえて記入してください。

- ①参加は、顧問（引率）として、講師として、講習受講者として、のいずれですか。
- ②顧問と講師の違いをどのように捉えていましたか（それぞれの捉え方で結構です）。
- ③講習受講者以外の方は、顧問または講師以外で何か役割を担っていましたか。

- ①顧問であり、講習受講者と認識しています。平成27年度の講習会は雪不足のため、内容が縮小されたので、今年度の講習会で技能を習得したいと考えていました。
- ②講師は判断と指示をする。顧問は場合によっては講師の補助に入る、という認識です。
- ③不明

3 予め決まっていた緊急時の連絡体制を記入してください。

- ①各顧問から、誰にどのような手段で連絡することになっていましたか。
- ②高体連に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
- ③学校に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
- ④保護者に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
- ⑤警察や消防に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。

- ①緊急連絡は本部に無線機で連絡することが原則だと認識しています。
- ②不明
- ③本部から電話連絡が原則ですが、場合によっては各校の顧問から連絡をする必要があると認識しています。
- ④各校から電話連絡です。
- ⑤本部から電話連絡です。

4 講習会の内容について保護者に対して事前にどのように伝えていましたか。また、保護者の理解（了解・同意等）をどのように得ていましたか。
開催要項を通知し、生徒からの口頭で確認していました。

5 学校では、今回の講習会への参加について、どのような手続を経て決定しましたか。
管理職に対し、必要書類を提示の上で回議しました。

6 講習会において参加者が受講した講義、実技講習の内容の詳細について記入してください。
(★1・・・別紙の地図にAと記入)

- ①（1日目午前）講話と学科の内容

午前中に講演会と講義を行いました。講演は外部講師の方をお呼びしました。講義は

宇都宮女子高校の早川先生にお願いしました。

②（1日目夕方）講師打合せの内容

参加する立場にありません。

③（2日目）班別実技講習の内容と講習を実施した場所を地図に示してください。★₁
雪上の歩行訓練、滑落防止姿勢、カラビナやスリングを使用した確保、雪洞の掘り方

④（2日目夕方）講師打合せの内容

参加する立場にありません。

7 あなたが、今回の講習会の中で安全面の指導（雪崩発生時の対処法、危険箇所の把握）を行った場合は、その指導した場面や具体的な内容を記入してください。

講師ではありませんでしたので、指導していません。しかし、3班では雪洞を掘る訓練をする際に、雪崩発生時にエアポケットを作ることを講師から指摘された記憶があります。

8 那須岳周辺で雪崩が発生する危険がある場所について把握していましたか。また、把握していた場合、それを地図で示してください。そして、その情報は共有されていたか。★₂
(★₂・・・別紙の地図にBと記入)

特に思い当たりません。情報共有もされていなかったと記憶しています。

那須雪崩事故調査票 2

勤務校（ 那須清峰高等学校 ） 職・氏名（ 実習助手 手塚 勝紀 ）

【本県の春山安全登山講習会関係】

1 あなたは、これまで春山安全登山講習会に何回参加していますか。

初めて参加しました

2 今回の講習会におけるあなたの役割について、以下の点を踏まえて記入してください。

- ①参加は、顧問（引率）として、講師として、講習受講者として、のいずれですか。
- ②顧問と講師の違いをどのように捉えていましたか（それぞれの捉え方で結構です）。
- ③講習受講者以外の方は、顧問または講師以外で何か役割を担っていましたか。

顧問として生徒が安全に講習を受けることを考え生徒に対し指導を行う立場であると考えています。講師は生徒（受講者）に対し主で指導を行うという認識です。役割は持っていませんでした。

3 予め決まっていた緊急時の連絡体制を記入してください。

- ①各顧問から、誰にどのような手段で連絡することになっていましたか。
- ②高体連に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
- ③学校に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
- ④保護者に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
- ⑤警察や消防に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。

連絡体制について認識はありませんでした。

4 講習会の内容について保護者に対して事前にどのように伝えていましたか。また、保護者の理解（了解・同意等）をどのように得ていましたか。

わかりません

5 学校では、今回の講習会への参加について、どのような手続を経て決定しましたか。

わかりません

6 講習会において参加者が受講した講義、実技講習の内容の詳細について記入してください。（★1・・・別紙の地図にAと記入）

- ①（1日目午前）講話と学科の内容
- ②（1日目夕方）講師打合せの内容
- ③（2日目）班別実技講習の内容と講習を実施した場所を地図に示してください。★1
- ④（2日目夕方）講師打合せの内容

③について 斜面の歩行訓練（登下）滑落した際の対応 ロープワーク 穴掘り

- 7 あなたが、今回の講習会の中で安全面の指導（雪崩発生時の対処法、危険箇所の把握）を行った場合は、その指導した場面や具体的な内容を記入してください。

行っていません

- 8 那須岳周辺で雪崩が発生する危険がある場所について把握していましたか。また、把握していた場合、それを地図で示してください。そして、その情報は共有されましたか。★₂ (★₂・・・別紙の地図にBと記入)

詳しく話はありませんでした

那須雪崩事故調査票 2

勤務校 (黒磯高等学校) 職・氏名 (常勤講師 高秀大作)
当時 矢板中央高等学校

【本県の春山安全登山講習会関係】

1. あなたは、これまで春山安全登山講習会に何回参加していますか。
平成24年度、平成25年度、平成27年度(学科のみ)、今回(平28年度)の4回
2. 今回の講習会におけるあなたの役割について、以下の点を踏まえて記入してください。
 - ①参加は、顧問(引率)として、講師として、講習受講者として、のいずれですか。
 - ②顧問と講師の違いをどのように捉えていましたか(それぞれの捉え方で結構です)。
 - ③講習受講者以外の方は、顧問または講師以外で何か役割を担っていましたか。

今回の参加について、矢板中央高校の引率として参加しました。当日、受付で講習資料を受け取った際に、私の名前が「村長」「4班主講師」にあることを見つけ、非常に驚きました。あらかじめの連絡はありませんでした。春山講習会は北部の担当であったので、役割分担をするのは当然とも思いました。結果として、引率兼講師として参加したことになります。

顧問と講師の違いについては、顧問の中から、高い技術を持った経験豊富な先生方が講師を務めるものと考えていました。今回私が主講師となった理由は、前述の冬期登山の経験があることと、登山専門部の世代交代を視野に入れて経験を積ませようとしたことがあるかと考えていました。

また、顧問が各学校の生徒の安全や健康、指導等に責任を持つのに対し、主講師はそれぞれの班の安全確保と指導に責任を持つものと考えていました。

3. 予め決まっていた緊急時の連絡体制を記入してください。
 - ①各顧問から、誰にどのような手段で連絡することになっていましたか。
各顧問にトランシーバーが配布され、本部へ連絡を取るようになっていました。しかしながら、全顧問が集まってトランシーバーの動作テストを行うことはありませんでした。
 - ②高体連に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
本部から高体連へと連絡が行くと思っていました。
 - ③学校に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
まず本部に連絡し、緊急対応をしてもらおうと同時に、顧問から学校へ直接電話連絡をすると思っていました。
 - ④保護者に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
学校から各保護者へ電話連絡を入れるようになっていました。
 - ⑤警察や消防に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
本部から連絡が行くと思っていました。
4. 講習会の内容について保護者に対して事前にどのように伝えていましたか。また、保

護者の理解（了解・同意等）をどのように得ていましたか。

事前に計画書を作成し、配布していました。計画書の配布を以て、保護者への通達とし、欠席する場合には直接顧問へ連絡をするようにしていました。

5 学校では、今回の講習会への参加について、どのような手続を経て決定しましたか。
高体連登山専門部からの開催通知を受け、参加申し込み書を添えて、稟議しました。

6 講習会において参加者が受講した講義、実技講習の内容の詳細について記入してください。（★・・・別紙の地図にAと記入）

①（1日目午前）講話と学科の内容

地平線会議から講師の方をお呼びし、山岳部に入って得したことについて、お話をいただきました。中国・モンゴル・チベット方面の風景が印象的でした。

学科については、ルートプランニングに関するものでした。地形図から細かい地形の様子を読み取ることについては、顧問研修会でやっていたことの復習になると思いました。

②（1日目夕方）講師打合せの内容

今年は昨年と比べて雪が多いという話がありました。

次に欠席者の確認をした。その後、講習内容の確認をしました。

私は初めての講師だったので、「どのようなことをすればいいのか」の旨の質問をした。講習資料内のリストにおいて、●で示された内容を指導するとのことでした。

指導の順番について、渡辺先生から助言をいただいた。まず幕営地から講習場所まで移動を兼ねてキックステップの練習をすること。次に、雪面を垂直に上下移動、垂直移動、斜めに移動、そして菱形を書くようにぐるぐると雪面を移動して歩行技術の訓練をすること。それから滑落停止訓練やロープワークなどの事項を行うこと、といった助言でした。

テレビで天気予報が始まり、全員で天気を確認しました。栃木県北部は雨・雪の予報だったので、「明日は雪が降るだろう」という話をしました。

③（2日目）班別実技講習の内容と講習を実施した場所を地図に示してください。★

上述の助言の通りに実施し、歩行技術の訓練後、滑落停止訓練を行いました。30分以上は行ったと思います。生徒に疲れが見えたので、休憩も兼ねて、1・2班がすでに作っていた雪洞を見学しました。このときに、吉沢先生が、雪が層になっていて、境界から滑って雪崩が起きる、と説明しました。その後、斜面を下り、ロープを使った訓練（プルージックと確保）を行いました。このときに菅又 CL から無線で、「天候不順のため、13:30～14:00には下山をしてください。併せて各班の講習の進捗状況について報告してください」との旨の連絡がありました。これに应答し、ロープワーク実施中であること、雪洞掘りを予定していることを連絡しました。

全員がロープワーク訓練終了後、生徒には休憩させ、吉沢先生、池間先生、先生にロープを回収してもらいました。

斜面を下ったところに雪洞を掘ることができそうなスペースを見つけたので、

そこで3～4人グループで1つの雪洞を掘らせました。13：20頃には全てのグループが雪洞を掘り終えた。生徒はツェルトを持参していなかったため、口頭で、「いざというときは、ツェルトを雪洞の上にかぶせて風を凌ぐ」と説明しました。

ガスが出てきたので、雪洞を埋めて、下山行動に移る。14：00前には幕営地に到着し、解散しました。

④ (2日目夕方) 講師打合せの内容

講師打ち合わせの連絡等はありませんでした。

7 あなたが、今回の講習会の中で安全面の指導(雪崩発生時の対処法、危険箇所の把握)を行った場合は、その指導した場面や具体的な内容を記入してください。

雪崩発生時の対処法、危険箇所の把握について、指導は行っていませんでした。
講習内容にある耐風姿勢は、3日目に行いました。

8 那須岳周辺で雪崩が発生する危険がある場所について把握していましたか。また、把握していた場合、それを地図で示してください。そして、その情報は共有されましたか。★2
(★2・・・別紙の地図にBと記入)

3日目の7：30頃にレストハウス前に集合した際に、渡辺先生から雪崩の起きやすい場所として、各班講師に説明がありました。この情報は共有されました。

(空白ページ)

那須雪崩事故調査票 2

勤務校 (矢板中央高等学校) 職・氏名 ([REDACTED])

【本県の春山安全登山講習会関係】

1 あなたは、これまで春山安全登山講習会に何回参加していますか。

全部で6回以上は(10年以上前も含む)参加していると思います。

2 今回の講習会におけるあなたの役割について、以下の点を踏まえて記入してください。

①参加は、顧問(引率)として、講師として、講習受講者として、のいずれですか。

引率です

②顧問と講師の違いをどのように捉えていましたか(それぞれの捉え方で結構です)。

※顧問のとらえ方がよくわかりません

講師は実技の指導 顧問は生徒の引率

③講習受講者以外の方は、顧問または講師以外で何か役割を担っていましたか。

特になかったと思います(質問の意味がよくわかりません)

3 予め決まっていた緊急時の連絡体制を記入してください。

①各顧問から、誰にどのような手段で連絡することになっていましたか。

計画書(本校作成、保護者に配布)に顧問→学校→各保護者と明記してあります。

②高体連に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。

把握しておりません

③学校に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。

①に書いた通りです

④保護者に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。

①に書いた通りです

⑤警察や消防に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。

把握しておりません

4 講習会の内容について保護者に対して事前にどのように伝えていましたか。また、保護者の理解(了解・同意等)をどのように得ていましたか。

3の①に記載した通り、計画書を生徒用・家庭用・学校提出用と作成しております。保護者からは特に同意書は取っておりませんが、月間の予定は配布しております。

5 学校では、今回の講習会への参加について、どのような手続を経て決定しましたか。

文書を回覧し参加の許可を学校長からいただいて参加しました

6 講習会において参加者が受講した講義、実技講習の内容の詳細について記入してください。(★・・・別紙の地図にAと記入)

①(1日目午前)講話と学科の内容

JR黒磯駅近くの「かっぱう石山」で[]さんの講話と宇都宮女子高校の早川大介先生の研修会の報告

②(1日目夕方)講師打合せの内容

打合せに参加していませんし、呼ばれてもおりません

③(2日目)班別実技講習の内容と講習を実施した場所を地図に示してください。★

地図よりも上部(峠の茶屋付近)で行いました

④(2日目夕方)講師打合せの内容

7 あなたが、今回の講習会の中で安全面の指導(雪崩発生時の対処法、危険箇所の把握)を行った場合は、その指導した場面や具体的な内容を記入してください。

引率での参加なので、指導補助的なことは行いましたが、中心的な指導は行っていません

8 那須岳周辺で雪崩が発生する危険がある場所について把握していましたか。また、把握していた場合、それを地図で示してください。そして、その情報は共有されていましたか。★(★・・・別紙の地図にBと記入)

雪崩が発生するとすれば、急斜面で岩場のほうが起こりやすいという知識はあります。ただし、特定の場所に限らず春先は表層雪崩が起きやすいことも知識としてあります。

那須雪崩事故調査票 2

勤務校（ 真岡女子高 ） 職・氏名（ 教諭・小林朋生 ）

【本県の春山安全登山講習会関係】

1 あなたは、これまで春山安全登山講習会に何回参加していますか。

4回参加しました。

2 今回の講習会におけるあなたの役割について、以下の点を踏まえて記入してください。

①参加は、顧問（引率）として、講師として、講習受講者として、のいずれですか。

顧問として、講師として両方の役割で参加しました。

②顧問と講師の違いをどのように捉えていましたか（それぞれの捉え方で結構です）。

講師は班員である生徒・顧問を含め安全に講習ができるよう努め、主に技術的なことを教える役割で、顧問（引率）は講師の指示をフォローして生徒達が安全に講習を受けられるようにする役割だと捉えていました。

③講習受講者以外の方は、顧問または講師以外で何か役割を担っていましたか。

顧問・講師以外の講習受講者はいなかったように思います。

3 予め決まっていた緊急時の連絡体制を記入してください。

①各顧問から、誰にどのような手段で連絡することになっていましたか。

猪瀬委員長や菅又チーフリーダーに無線で連絡することになっていました。

②高体連に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。

猪瀬委員長から電話で連絡することになっていたと思います。

③学校に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。

顧問（引率）が電話で連絡することになっていました。

④保護者に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。

顧問（引率）が電話で連絡することになっていましたが、学校に計画書を置いていたので、学校から保護者に電話連絡してもらえました。

⑤警察や消防に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。

猪瀬委員長から電話で連絡することになっていました。

- 4 講習会の内容について保護者に対して事前にどのように伝えていましたか。また、保護者の理解（了解・同意等）をどのように得ていましたか。

計画書を作成し、保護者にも見てもらうようにしていました。
同意書は配布していませんでした。

- 5 学校では、今回の講習会への参加について、どのような手続を経て決定しましたか。

開催要項を稟議し、参加生徒一覧を添え、出張伺いを提出しました。

- 6 講習会において参加者が受講した講義、実技講習の内容の詳細について記入してください。（★1・・・別紙の地図にAと記入）

①（1日目午前）講話と学科の内容

■■■■氏（元読売新聞編集委員）による『山岳部はこんなに得をする』
早川大介氏（宇都宮女子高）による『国立登山研修所 安全登山普及指導者中央研修会に参加して』

②（1日目夕方）講師打合せの内容

欠席者を確認し、参加者一覧を確認しました。

2日目の班別実技講習の内容を確認しました。

キックステップは登り・下り・斜め移動と、雪上を怖がらず歩けるようしつかり練習させて欲しいと指示を受けました。

また、ピッケルを用いた滑落停止訓練は必ず実施するよう指示を受けました。

余裕があれば、ザイルを用いた安全確保や雪洞訓練ができるとよいと指示を受けました。

3日目の茶臼登山は、真岡女子高が最後尾となり他校は真岡女子高より後ろに行かないよう指示がありました。閉講式の時間の都合もあるので、9時半には登りをやめ下山を開始するよう指示を受けました。

③（2日目）班別実技講習の内容と講習を実施した場所を地図に示してください。★1

7時30分にスキー場を出発して9時頃郭公沢付近に到着しました。

副講師に島田先生（宇都宮東高）と荒井先生（大田原女子高）の二人にも加わってもらい、午前中は雪の斜面をキックステップで上り下りしたり、斜面を斜めに上り下りして自在に歩けるよう訓練しました。

また、何度もお尻から斜面を下ることで滑り台を作り、スピードがある程度出る状態にして、ピッケルを用いた滑落停止訓練を行いました。

昼食休憩をはさみ、午後は木と木の間にザイルをはり、カラビナとチェストバンドを媒介にしてザイルに身体を確保し、安全に上り下りをする訓練をしました。最後に、峠の茶屋付近にて雪の吹きだまりを利用し雪洞訓練を行いました。生徒6人全員が入れる大きな穴をスコップで掘り、風をしのげることを確認しました。訓練を終え、15時5分にスキー場に戻りました。

④ (2日目夕方) 講師打合せの内容

特に講師打合せは予定されていなかったと思います。
ですので、参加していません。 }

7 あなたが、今回の講習会の中で安全面の指導(雪崩発生時の対処法、危険箇所の把握)を行った場合は、その指導した場面や具体的な内容を記入してください。

実技講習の内容にはなく、特に雪崩に関する指導はしていませんでした。
2日目に訓練を実施した郭公沢付近から北側に見える尾根上に雪庇が見えたので、「ああいう場所を歩くと滑落してしまう」という話を昼食をとりながら生徒達に話しました。

8 那須岳周辺で雪崩が発生する危険がある場所について把握していましたか。また、把握していた場合、それを地図で示してください。そして、その情報は共有されていましたか。★2 (★2・・・別紙の地図にBと記入)

把握していませんでした。
3日目の朝に渡辺先生(当時真岡高校)から「第3ゲレンデの奥の雪の付き方が雪崩が起きそうだ」という話を聞きました。

(空白ページ)

那須雪崩事故調査票 2

勤務校（大田原高校） 職・氏名（教諭 猪瀬修一）

【本県の春山安全登山講習会関係】

- 1 あなたは、これまで春山安全登山講習会に何回参加していますか。
 - ・委員長として6回、引率や講師として10回ぐらい
- 2 今回の講習会におけるあなたの役割について、以下の点を踏まえて記入してください。
 - ①参加は、顧問（引率）として、講師として、講習受講者として、のいずれですか。
 - ・講習会の委員長として参加しました。
 - ②顧問と講師の違いをどのように捉えていましたか（それぞれの捉え方で結構です）。
 - ・講習会全体の運営を私が、講習については講師の先生方に任せていました。
 - ③講習受講者以外の方は、顧問または講師以外で何か役割を担っていましたか。
- 3 予め決まっていた緊急時の連絡体制を記入してください。
 - ①各顧問から、誰にどのような手段で連絡することになっていましたか。
 - ・業務用無線機で、講師主任や本部に
 - ②高体連に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
 - ・特にマニュアルはないが委員長から電話で
 - ③学校に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
 - ・特にマニュアルはないが顧問から電話で
 - ④保護者に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
 - ・特にマニュアルはないが顧問や学校から電話で
 - ⑤警察や消防に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
 - ・特にマニュアルはないが本部から電話で

※高体連登山専門部として緊急連絡網は作成していた。
- 4 講習会の内容について保護者に対して事前にどのように伝えていましたか。また、保護者の理解（了解・同意等）をどのように得ていましたか。
 - ・講習会の開催通知のコピーを生徒に配布し、保護者に伝えていた。了解や同意等は特に書面では得ていない。
- 5 学校では、今回の講習会への参加について、どのような手続を経て決定しましたか。
 - ・春山安全登山講習会の開催通知を回覧し、部活動参加許可願いを回覧し校長決裁を受けた。
- 6 講習会において参加者が受講した講義、実技講習の内容の詳細について記入してください。（★1・・・別紙の地図にAと記入）
 - ①（1日目午前）講話と学科の内容
講話「山岳部はこんなに得する」：■■■■氏（地平線会議創設メンバー）
モンゴルでの人々の暮らしの様子を交えて、自然と関わることの大切さを中

心に山岳部として山に関わることの素晴らしさを講演していただいた。
講義「登山研修所の研修から」：早川先生(宇都宮女子高校)
昨年6月に参加した、登山研修所での研修をもとに登山において心がけることを話していただいた。

② (1日目夕方) 講師打合せの内容

・2日目における講習内容の確認と3日目の行動の確認

③ (2日目) 班別実技講習の内容と講習を実施した場所を地図に示してください。★₁

・私は本部(天馬や大丸付近)だったので、講習内容や講習場所は、講師の先生にお任せしていた。峠の茶屋駐車場上部と認識している

④ (2日目夕方) 講師打合せの内容

・3日目の事は1日目の夕方に確認しているのでいつも行っていない。

7 あなたが、今回の講習会の中で安全面の指導(雪崩発生時の対処法、危険箇所の把握)を行った場合は、その指導した場面や具体的な内容を記入してください。

・講習会での指導は、講師主任や講師の先生にお願いしていた。

・2日目の講習終了後、帰ってきた班にテント内での火の取り扱いに注意するよう呼び掛けはした。

8 那須岳周辺で雪崩が発生する危険がある場所について把握していましたか。また、把握していた場合、それを地図で示してください。そして、その情報は共有されましたか。★₂
(★₂・・・別紙の地図にBと記入)

① スキー場の第2ゲレンデの上部付近

よく話題にしている場所なので、共有されていると思う。

那須雪崩事故調査票 2

勤務校（ 宇都宮高等学校 ） 職・氏名（ 教諭 池間明德 ）

【本県の春山安全登山講習会関係】

- 1 あなたは、これまで春山安全登山講習会に何回参加していますか。
（8回）
- 2 今回の講習会におけるあなたの役割について、以下の点を踏まえて記入してください。
 - ①参加は、顧問（引率）として、講師として、講習受講者として、のいずれですか。
（顧問）
 - ②顧問と講師の違いをどのように捉えていましたか（それぞれの捉え方で結構です）。
（講師は技術指導、講習内容・時間の判断。顧問は補助。）
 - ③講習受講者以外の方は、顧問または講師以外で何か役割を担っていましたか。
（なし）
- 3 予め決まっていた緊急時の連絡体制を記入してください。
 - ①各顧問から、誰にどのような手段で連絡することになっていましたか。
（顧問－メール or 電話→部長－LINE→部員）
 - ②高体連に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
（顧問－電話、メール、FAX→専門委員長→高体連）
 - ③学校に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
（顧問－電話→校長）
 - ④保護者に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
（顧問が参加者名簿を元に、直接電話連絡）
 - ⑤警察や消防に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
（原則当事者になった顧問）
- 4 講習会の内容について保護者に対して事前にどのように伝えていましたか。また、保護者の理解（了解・同意等）をどのように得ていましたか。
（生徒を集め高体連登山部から送付された要項を配付、説明→保護者の同意を得た上で申し込み）
- 5 学校では、今回の講習会への参加について、どのような手続を経て決定しましたか。
（高体連登山部から送付された要項を回議、決済）
- 6 講習会において参加者が受講した講義、実技講習の内容の詳細について記入してくだ

さい。

(★₁・・・別紙の地図にAと記入)

① (1日目午前) 講話と学科の内容

■■■■ 氏 (「地平線会議」コーディネーター) 『山岳部はこんなに得する』

早川大介 先生 (宇都宮女子高等学校山岳部顧問) 登山講習参加報告

*ともに興味深く拝聴した。

② (1日目夕方) 講師打合せの内容

(講師ではないため、参加する立場にない)

③ (2日目) 班別実技講習の内容と講習を実施した場所を地図に示してください。★₁

(キックステップなど、雪のある斜面の登下降、滑落停止訓練、ロープワーク、雪洞掘り、説明)

*本校は2年生が2班、1年生が4班に分かれたが技量未熟な1年の班に加わった。

④ (2日目夕方) 講師打合せの内容

(講師ではないため、参加する立場にない)

7 あなたが、今回の講習会の中で安全面の指導(雪崩発生時の対処法、危険箇所の把握)を行った場合は、その指導した場面や具体的な内容を記入してください。

(なし)

8 那須岳周辺で雪崩が発生する危険がある場所について把握していましたか。また、把握していた場合、それを地図で示してください。そして、その情報は共有されましたか。★₂

(★₂・・・別紙の地図にBと記入)

(把握していなかった。)

那須雪崩事故調査票 2

勤務校（栃木県立大田原高等学校） 職・氏名（教諭・若林 徹大）

【本県の春山安全登山講習会関係】

- 1 あなたは、これまで春山安全登山講習会に何回参加していますか。 3回
- 2 今回の講習会におけるあなたの役割について、以下の点を踏まえて記入してください。
 - ①参加は、顧問（引率）として、講師として、講習受講者として、のいずれですか。
顧問
②顧問と講師の違いをどのように捉えていましたか（それぞれの捉え方で結構です）。
顧問：勤務校の山岳部の生徒の監督
講師：講習指導・講習班の責任者（ルート、講習場所の選定）
③講習受講者以外の方は、顧問または講師以外で何か役割を担っていましたか。
担っていない。
- 3 予め決まっていた緊急時の連絡体制を記入してください。
 - ①各顧問から、誰にどのような手段で連絡することになっていましたか。
本部の猪瀬委員長に無線で連絡する。
 - ②高体連に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
わからなかった。
 - ③学校に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
主顧問である猪瀬先生に携帯電話で連絡することになっていた。
 - ④保護者に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
主顧問である猪瀬先生が携帯電話で連絡することになっていた。
 - ⑤警察や消防に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
講習会の責任者である猪瀬委員長が携帯電話等で連絡することになっていた。
- 4 講習会の内容について保護者に対して事前にどのように伝えていましたか。また、保護者の理解（了解・同意等）をどのように得ていましたか。
主顧問である猪瀬先生が生徒に実施要項を渡し、ミーティングを実施した。
ミーティングでその内容を保護者に伝えるよう指示した。
- 5 学校では、今回の講習会への参加について、どのような手続を経て決定しましたか。
行事参加・練習試合等許可願の校長決裁を受けて参加した。
- 6 講習会において参加者が受講した講義、実技講習の内容の詳細について記入してください。 (★・・・別紙の地図にAと記入)
 - ①（1日目午前）講話と学科の内容
講話：「地平線会議」主宰者による講演
学科：読図方法及び道具の扱い方、持って行くべき装備（宇女・早川先生が講師）
 - ②（1日目夕方）講師打合せの内容

引率教員のため講師の打合せには、参加していなかった。

- ③ (2日目) 班別実技講習の内容と講習を実施した場所を地図に示してください。★₁
別紙地図参照。

キックステップ、滑落停止訓練、雪洞掘り、弱層テスト、ザイルとプルージック
グリセードとシリセード

- ④ (2日目夕方) 講師打合せの内容

下山していたため、参加していなかった。

- 7 あなたが、今回の講習会の中で安全面の指導(雪崩発生時の対処法、危険箇所の把握)を行った場合は、その指導した場面や具体的な内容を記入してください。

2日目の講習で「弱層テスト」を学んだ。

- 8 那須岳周辺で雪崩が発生する危険がある場所について把握していましたか。また、把握していた場合、それを地図で示してください。そして、その情報は共有されましたか。★₂ (★₂・・・別紙の地図にBと記入)

把握していなかった。

那須雪崩事故調査票 2

勤務校（栃木県立矢板東高等学校） 職・氏名（ 教諭・関谷 恭弘 ）

【本県の春山安全登山講習会関係】

1 あなたは、これまで春山安全登山講習会に何回参加していますか。

8回

2 今回の講習会におけるあなたの役割について、以下の点を踏まえて記入してください。

- ①参加は、顧問（引率）として、講師として、講習受講者として、のいずれですか。
- ②顧問と講師の違いをどのように捉えていましたか（それぞれの捉え方で結構です）。
- ③講習受講者以外の方は、顧問または講師以外で何か役割を担っていましたか。

①矢東高山岳部顧問（引率）と2日目3班講師

②顧問・・・生徒を引率し、引率している学校生徒の責任者。
講師・・・生徒への技術的指導者。担当班の責任者。

3 予め決まっていた緊急時の連絡体制を記入してください。

- ①各顧問から、誰にどのような手段で連絡することになっていましたか。
- ②高体連に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
- ③学校に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
- ④保護者に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
- ⑤警察や消防に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。

①委員長へ電話・無線等で連絡。

②委員長または部長から電話等で連絡。

③顧問（引率者）が電話等で連絡。

④顧問（引率者）が電話等で連絡。できない場合は、学校の管理職等が電話で連絡。

⑤そのとき、連絡できる人（専門部、顧問（引率者）、主講師、副講師）等が電話等で連絡。

4 講習会の内容について保護者に対して事前にどのように伝えていましたか。また、保護者の理解（了解・同意等）をどのように得ていましたか。

生徒を通じ、開催通知を配布して周知。計画書も一人2部作成し、家庭用に配布。同意書は、夏山以外とっていない。

5 学校では、今回の講習会への参加について、どのような手続を経て決定しましたか。

開催通知の通り、生徒参加申込書で、決裁を受け決定。また、学校の様式に従った参加伺いにより決裁を受け決定。

6 講習会において参加者が受講した講義、実技講習の内容の詳細について記入してください。（★１・・・別紙の地図にAと記入）

①（1日目午前）講話と学科の内容

② (1日目夕方) 講師打合せの内容

③ (2日目) 班別実技講習の内容と講習を実施した場所を地図に示してください。★₁

④ (2日目夕方) 講師打合せの内容

①・講話「山岳部はこんなに得をする」XXXXXXXXXX 氏

生き物の一つとして、山ではヒトはホモ=サピエンスになれる。自然に入れば入るほど、ヒトは自然と一体化できる。

祝日「山の日」に那須で全国大会が行われるが、山の日は「命」を考える日である。

・講義「安全登山普及指導者中央研修会に参加して」早川 大介 先生

読図と地図上でのナビゲーション地形の見方など、研修したことの伝達講習が行われた。

②・講習内容の確認。

昨年度、講習会で雪が少なくあまり雪に接することができなかったので、今年度は、雪に慣れることから始める。基本的な雪上歩行(キックステップ等)を中心に、登ったり下ったり、トラバースを行う。スタンディングアックスピレーは行わない。雪洞を掘ったり、弱層テストを行ったり、滑落停止訓練を行う。ロープワークは、基本的なものを行う。

・天候について

天気が良くないので、場合によっては開始時間、終了時間の変更もある。雨が降ってしまうと訓練がやりづらいが、空気は冷えているので雨にはならないだろう。テレビとネット上の天気予報で確認。

③・雪上での歩行訓練(キックステップ等)

・滑落停止訓練(手で雪を抱えるものと、ピッケルを用いる場合)

・ロープワーク(8の字、インクノット、ダブルフィッシャーマン、プルージック)

・フィックスロープを用いて、プルージックでの下山。

・雪洞を掘る。ツェルトでふたをする。希望者は、雪に埋まる。

・雪洞を埋戻しする際、弱層を確認。弱層テストの説明。

・雪崩の際、流されないようにできれば雪をかき集め、停止する。口元の空間(エアポケット)の確保。

7 あなたが、今回の講習会の中で安全面の指導(雪崩発生時の対処法、危険箇所の把握)を行った場合は、その指導した場面や具体的な内容を記入してください。

・2日目の講習の最後(13:30頃)で上述の内容を実施した。

8 那須岳周辺で雪崩が発生する危険がある場所について把握していましたか。また、把握していた場合、それを地図で示してください。そして、その情報は共有されましたか。★₂

(★₂・・・別紙の地図にBと記入)

特に把握はしていなかった。

那須雪崩事故調査票 2

勤務校（宇都宮東高校 ） 職・氏名（教諭 島田 幹男 ）

【本県の春山安全登山講習会関係】

1 あなたは、これまで春山安全登山講習会に何回参加していますか。

7回

2 今回の講習会におけるあなたの役割について、以下の点を踏まえて記入してください。

①参加は、顧問（引率）として、講師として、講習受講者として、のいずれですか。

今回は副講師として参加。それまでは主講師で参加していました。

②顧問と講師の違いをどのように捉えていましたか（それぞれの捉え方で結構です）。

顧問は生徒の生活面を監督、指導する立場。講師は山に関する知識や技術を教える。

④講習受講者以外の方は、顧問または講師以外で何か役割を担っていましたか。

特にありませんでした。

3 予め決まっていた緊急時の連絡体制を記入してください。

①各顧問から、誰にどのような手段で連絡することになっていましたか。

②高体連に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。

③学校に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。

④保護者に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。

⑤警察や消防に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。

予め連絡体制は決まっていなかったと思う。なぜなら他の大会や講習会では、無線によって各班や各学校単位で連絡を取り合っていた。現場で何かあった場合、現場の責任者（CL）が判断をして本部に連絡していた。

4 講習会の内容について保護者に対して事前にどのように伝えていましたか。また、保護者の理解（了解・同意等）をどのように得ていましたか。

宇都宮東高校には山岳部はありません。今回の講習会には生徒は参加していません。

5 学校では、今回の講習会への参加について、どのような手続を経て決定しましたか。

宇都宮東高校には山岳部はありません。今回の講習会には生徒は参加していません。

6 講習会において参加者が受講した講義、実技講習の内容の詳細について記入してください。
(★1・・・別紙の地図にAと記入)

① (1日目午前) 講話と学科の内容

■■■■氏の講話の途中で会場に到着しました。■■■■氏のお兄さんが私の大学山岳部のOBであることを知り、話が弾みました。宇女高 早川先生の登山研修所での講習体験など。

② (1日目夕方) 講師打合せの内容

生徒の欠席者確認・講習場所確認・講習内容の確認・天候の確認

③ (2日目) 班別実技講習の内容と講習を実施した場所を地図に示してください。★₁

歩行訓練(上り、下り、トラバース、キックステップ)・ピッケルの使用方法・ピッケルストップ・雪洞体験とツェルトの使用など

④ (2日目夕方) 講師打合せの内容

2日目は15時30分に帰ったため、参加していません。

7 あなたが、今回の講習会の中で安全面の指導(雪崩発生時の対処法、危険箇所の把握)を行った場合は、その指導した場面や具体的な内容を記入してください。

講習場所まで行く途中、朝日岳から続く尾根上に雪庇を確認した。生徒を立ち止まらせ雪庇について説明する。あのような雪庇が登山道にあり通過するときは危険が伴う、踏み抜かない、進行する上部にある場合は崩落して雪崩が発生する可能性もある等、デブリも説明したと思います。

8 那須岳周辺で雪崩が発生する危険がある場所について把握していましたか。また、把握していた場合、それを地図で示してください。そして、その情報は共有されましたか。★₂ (★₂・・・別紙の地図にBと記入)

那須周辺で雪崩の話はそれほど聞いていませんでした。あるとすれば一般ルート上の剣が峰付近、沢筋くらいかなと思っていました。スキー場近辺では第二グレンデ上部の左手、デブリの後を見たことがあります。

那須雪崩事故調査票 2

勤務校 (栃木県立さくら清修高等学校) 職・氏名 (教諭・後藤 尚)

【本県の春山安全登山講習会関係】

1 あなたは、これまで春山安全登山講習会に何回参加していますか。

20回以上は参加していると思われる。

2 今回の講習会におけるあなたの役割について、以下の点を踏まえて記入してください。

- ①参加は、顧問(引率)として、講師として、講習受講者として、のいずれですか。
- ②顧問と講師の違いをどのように捉えていましたか(それぞれの捉え方で結構です)。
- ③講習受講者以外の方は、顧問または講師以外で何か役割を担っていましたか。
 - ① 講師として参加
 - ② より経験豊富な顧問が講師を務めている。
 - ③ なし

3 予め決まっていた緊急時の連絡体制を記入してください。

- ①各顧問から、誰にどのような手段で連絡することになっていましたか。
- ②高体連に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
- ③学校に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
- ④保護者に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
- ⑤警察や消防に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
 - ① 委員長に主に無線(または携帯電話)で連絡する。
 - ② 委員長が電話で連絡をする。
 - ③ 顧問教師が電話で連絡をする。
 - ④ 顧問教師が電話で連絡をする。
 - ⑤ 委員長が電話で連絡をする。

4 講習会の内容について保護者に対して事前にどのように伝えていましたか。また、保護者の理解(了解・同意等)をどのように得ていましたか。

生徒は引率していませんでした。

5 学校では、今回の講習会への参加について、どのような手続を経て決定しましたか。

学校長の了解を口頭で得た後に文書にて旅行伺いを提出した。

6 講習会において参加者が受講した講義、実技講習の内容の詳細について記入してください。(★1・・・別紙の地図にAと記入)

- ①(1日目午前)講話と学科の内容 受けていない。
- ⑤(1日目夕方)講師打合せの内容 天候の状況、積雪の状況について打合せをした。(遅れて参加したのですべては聞いていない。)

③ (2日目) 班別実技講習の内容と講習を実施した場所を地図に示してください。★₁

④ (2日目夕方) 講師打合せの内容

途中で1名を下山させ委員長に引き渡した後は怪我等も無く無事に終了した事を委員長に報告した。

7 あなたが、今回の講習会の中で安全面の指導(雪崩発生時の対処法、危険箇所の把握)を行った場合は、その指導した場面や具体的な内容を記入してください。

バランスの良い歩行 → 斜面での歩行訓練をした。

危険箇所のロープを使用した通過 → 固定ロープをプルージック結びで通過させた。

ビバーク時の簡易雪洞 → たて穴式の簡易雪洞を掘って見せ、その後実際に生徒に掘らせた。

弱層について → 雪洞を掘った際に弱層の存在について説明した。

埋没体験 → 雪洞を掘った後にその中に入った生徒に雪をかぶせ、埋没の体験を行い声を出したときどう聞こえるかを体験させた。

8 那須岳周辺で雪崩が発生する危険がある場所について把握していましたか。また、把握していた場合、それを地図で示してください。そして、その情報は共有されていましたか。★₂ (★₂・・・別紙の地図にBと記入)

スキー場上部、郭公沢等

積雪の状態によっては同じ場所でも雪崩れる場合とそうで無い場合があると思う。

那須雪崩事故調査票 2

勤務校（栃木県立さくら清修高等学校） 職・氏名（教諭・吉澤 順一）

【本県の春山安全登山講習会関係】

- 1 あなたは、これまで春山安全登山講習会に何回参加していますか。
→ 7回。
- 2 今回の講習会におけるあなたの役割について、以下の点を踏まえて記入してください。
 - ①参加は、顧問（引率）として、講師として、講習受講者として、のいずれですか。
→ 講師（4班の副講師）として
 - ②顧問と講師の違いをどのように捉えていましたか（それぞれの捉え方で結構です）。
→ 講師は2日目の雪上訓練等の班別研修時に指導をする者。
顧問は学校毎の行動時等に生徒の引率・指導をする者。
 - ③講習受講者以外の方は、顧問または講師以外で何か役割を担っていましたか。
→ 特に担わなかった。
- 3 予め決まっていた緊急時の連絡体制を記入してください。
 - ①各顧問から、誰にどのような手段で連絡することになっていましたか。
→ 業務無線により講習会本部（専門委員長）へ、専門委員長より電話で専門部長へ。
専門部長が電話で副部長、専門部顧問に連絡をとる。
 - ②高体連に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
→ 専門委員長が電話で県教委（学校教育課・スポーツ振興課）、県警本部（地域課）、県岳連（遭難対策委員会）へ。高体連への連絡は想定されていない。専門部長が連絡するものか？
 - ③学校に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
→ 各顧問が各勤務校に電話で、または専門委員長が緊急連絡網で一斉に各学校へ。
 - ④保護者に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
→ 各顧問が各校登山計画書に記載の生徒保護者の連絡先へ、電話で。
 - ⑤警察や消防に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
→ 専門委員長が県警本部（地域課）へ、電話で。
- 4 講習会の内容について保護者に対して事前にどのように伝えていましたか。また、保護者の理解（了解・同意等）をどのように得ていましたか。
→ 勤務校に講習会への参加生徒がない（山岳部がない）ため、該当せず。
- 5 学校では、今回の講習会への参加について、どのような手続を経て決定しましたか。
→ 生徒の参加については同上。教員（専門委員）の参加については、専門委員が旅行伺いを提出し、校長が決済した。
- 6 講習会において参加者が受講した講義、実技講習の内容の詳細について記入してください。（★・・・別紙の地図にAと記入）
 - ①（1日目午前）講話と学科の内容
→ 参加していない。

② (1日目夕方) 講師打合せの内容

→遅れて参加。翌日の天候と講習内容。

③ (2日目) 班別実技講習の内容と講習を実施した場所を地図に示してください。★₁

→講習会要項に記載の通り。4班では弱層テストはしていない。

雪洞を掘らせた際に雪の層(弱層)を確認させた。

④ (2日目夕方) 講師打合せの内容

→2日目の15:30頃に下山したため、参加していない。

7 あなたが、今回の講習会の中で安全面の指導(雪崩発生時の対処法、危険箇所の把握)を行った場合は、その指導した場面や具体的な内容を記入してください。

→今回の講習2日目では、雪崩発生時の対処法については指導していない。危険箇所(の把握)についても指導していない。各学校の顧問が日常の練習の中で指導していると思う。

8 那須岳周辺で雪崩が発生する危険がある場所について把握していましたか。また、把握していた場合、それを地図で示してください。そして、その情報は共有されましたか。★₂ (★₂・・・別紙の地図にBと記入)

→把握していた。山をやっている人なら大抵の危険箇所は把握している。

那須雪崩事故調査票 2

勤務校 (宇都宮女子高校) 職・氏名 (教諭 早川 大介)

【本県の春山安全登山講習会関係】

- 1 あなたは、これまで春山安全登山講習会に何回参加していますか。
1回 (今回が初めての参加)
- 2 今回の講習会におけるあなたの役割について、以下の点を踏まえて記入してください。
 - ①参加は、顧問 (引率) として、講師として、講習受講者として、のいずれですか。
初日の講話の講師として参加した。
 - ②顧問と講師の違いをどのように捉えていましたか (それぞれの捉え方で結構です)。
平成28年6月の国立登山研修所における「読図・プランニング研修」の報告をする目的で参加した。
 - ③講習受講者以外の方は、顧問または講師以外で何か役割を担っていましたか。
なし
- 3 予め決まっていた緊急時の連絡体制を記入してください。
 - ①各顧問から、誰にどのような手段で連絡することになっていましたか。
 - ②高体連に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
 - ③学校に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
 - ④保護者に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
 - ⑤警察や消防に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
初日の講話・学科講習後は参加していないので、分からない。
- 4 講習会の内容について保護者に対して事前にどのように伝えていましたか。また、保護者の理解 (了解・同意等) をどのように得ていましたか。
自校の生徒を引率していないので、保護者には連絡していない。
- 5 学校では、今回の講習会への参加について、どのような手続を経て決定しましたか。
高体連登山専門部から講師としての依頼があり、通常の出張手続を経て参加した。
- 6 講習会において参加者が受講した講義、実技講習の内容の詳細について記入してください。 (★1・・・別紙の地図にAと記入)
 - ① (1日目午前) 講話と学科の内容
 - ② (1日目夕方) 講師打合せの内容
 - ③ (2日目) 班別実技講習の内容と講習を実施した場所を地図に示してください。★1
 - ④ (2日目夕方) 講師打合せの内容
 - ① 講話1 XXXXXXXXXX 「山岳部はこんなに得する」
地平線会議での活動その他の紹介。
 - 講話2 早川大介 「国立登山研修所『読図・プランニング研修コース』報告」
地図の読み方、計画の立て方、携行品の大切さについて。

②～④は参加していないので、分からない。

7 あなたが、今回の講習会の中で安全面の指導（雪崩発生時の対処法、危険箇所の把握）を行った場合は、その指導した場面や具体的な内容を記入してください。

なし

8 那須岳周辺で雪崩が発生する危険がある場所について把握していましたか。また、把握していた場合、それを地図で示してください。そして、その情報は共有されましたか。★₂ (★₂・・・別紙の地図にBと記入)

初日の講話・学科講習のみの参加であり、該当せず。

那須雪崩事故調査票 2

勤務校（大田原女子高等学校） 職・氏名（ 教諭・荒井徹 ）

【本県の春山安全登山講習会関係】

1 あなたは、これまで春山安全登山講習会に何回参加していますか。

11回

2 今回の講習会におけるあなたの役割について、以下の点を踏まえて記入してください。

- ①参加は、顧問（引率）として、講師として、講習受講者として、のいずれですか。
- ②顧問と講師の違いをどのように捉えていましたか（それぞれの捉え方で結構です）。
- ③講習受講者以外の方は、顧問または講師以外で何か役割を担っていましたか。

今回の講習会に参加可能かとの問い合わせがあった際には、校務多忙のため欠席と連絡をしてあります。講習会の1週間前に、真岡女子高等学校ワンダーフォーゲル部の卒業生送別会および送別登山に旧顧問として招待され、送別会および送別登山に参加しました。送別会で講習会への引率が一人しかつけられなかったことを聞き、学校の年度末の仕事も3月25日土曜日中にほぼまとまりましたので、26日日曜日の講習会当日だけでも真岡女子高のお手伝いのできればいいと思い参加しました。講習会での役割は何もついていません。

過去の講習会への参加から、顧問が、受講者→（講師補助）→講師のように経験から変わっていくように感じています。雪山の経験から講習会中での役割分担が講習班内で自然とできています。

3 予め決まっていた緊急時の連絡体制を記入してください。

今回は講習会メンバーではありませんので、事前の打ち合わせがどのように行われていたかはわかりません。昨年度までは、講習会中の明文化された連絡体制は知らされていません。

①各顧問から、誰にどのような手段で連絡することになっていましたか。

例年ですと、顧問全員が同一バンドに調整した業務用無線が集合時に手渡されます。緊急時には無線で講師（班長）または本部に直接連絡します。同一バンドですので、同時に全顧問が状況を把握できます。地形の関係で電波が相手に通じていない場合には、他校の顧問が中継することもあります。

②高体連に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。

本部（専門委委員長）が必要に応じて連絡を取るものと思っていました。

③学校に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。

各校の顧問が自校に連絡するのが基本だと思っていました。ただし、携帯電話の電波が通じない場所や携帯電話を持っていない場合には、本部から学校へ連絡をすることもあるかと思えます。

④保護者に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。

各校の顧問が保護者に連絡するのが基本だと思っていました。ただし、携帯電話の電波が通じない場所や携帯電話を持っていない場合には、本部から家庭へ連絡をすることもあるかと思えます。講習会参加初日に提出する参加申込書には、参加生徒の自宅電話番号が記載されています。

⑤警察や消防に対して、誰がどのような手段で連絡することになっていましたか。
本部（専門委委員長）が必要に応じて連絡を取るものと思っていました。

4 講習会の内容について保護者に対して事前にどのように伝えていましたか。また、保護者の理解（了解・同意等）をどのように得ていましたか。

顧問をしていた時には、年度当初（4月中旬）に入部希望者と現部員全員を集めて、年間予定を説明していました。入部希望者には活動内容と合わせて個人で購入の必要な道具と価格について説明していました。年間予定表（全員配布）と必要な道具と販売店地図（入部希望者のみ）を配布していました。保護者あての文書は作成していませんでしたが、これらの書類を使って各家庭内で話し合いが行われていると思っていました。

また、大会（講習会）の2週間前にミーティングを開き、大会（講習会）の日程と内容を部員に説明（資料全員配布）していました。日程や内容から参加できないまたは参加したくない生徒は、不参加として参加申し込みをしていません。保護者あての文書は作成していませんでしたが、大会（講習会）ごとに経費集金を行っていたので、この書類を使って各家庭内で話し合いが行われていると思っていました。集金する経費は交通費を含むので数千円から夏山合宿の2万円までかかり、保護者に大会（講習会）の話をしないと高校生に支払えない金額です。震災後の大会参加を含めて、参加を強制したことはありません。

5 学校では、今回の講習会への参加について、どのような手続を経て決定しましたか。
個人的な山行として那須に行きましたので、学校での手続きはしておりません。

6 講習会において参加者が受講した講義、実技講習の内容の詳細について記入してください。
(★1・・・別紙の地図にAと記入)

①（1日目午前）講話と学科の内容

参加しておりません

②（1日目夕方）講師打合せの内容

参加しておりません

③（2日目）班別実技講習の内容と講習を実施した場所を地図に示してください。★1

・雪上歩行訓練

・ピッケルを使っての雪上歩行訓練

・ピッケルを使っての滑落停止訓練

・フィックスロープを使っての滑落停止訓練

・雪洞作り

④（2日目夕方）講師打合せの内容

参加しておりません

7 あなたが、今回の講習会の中で安全面の指導（雪崩発生時の対処法、危険箇所の把握）を行った場合は、その指導した場面や具体的な内容を記入してください。

雪洞を作るために雪を掘ると氷の層が出てきた。作業中の矢板東高の生徒から「このまま掘っていいですか」と聞かれたので、「掘ってください。」と答えるとともに、「この氷の層が斜面までずっと続いているはずだから、今掘ったくらいの雪がその上に載っています。この雪が 一気に氷の上をすべると表層雪崩になります。」と説明を加えました。真岡女子高生徒は作業中だったので、聞こえていなかったかもしれません。

雪洞の上に、屋根をつけるためにツェルトを出させた。ツェルトは風の強いなかで休憩するときにくるまると体温が奪われないので、積極的に使うとよいとの話もした。

8 那須岳周辺で雪崩が発生する危険がある場所について把握していましたか。また、把握していた場合、それを地図で示してください。そして、その情報は共有されていましたか。★2 (★2・・・別紙の地図にBと記入)

雪崩が発生すると認識していた場所は、雪崩があったことを聞いた場所と4月に那須を歩いた時に雪崩の跡を見かけた場所です。顧問間での情報共有はしていませんが、顧問歴の長い人は経験として知っていると思います。